

投資家・アナリストの皆様へ



# あいおい損保 会社説明会

(2004年度中間決算報告を含めて)

2004年12月6日

あいおい損害保険株式会社

# CONTENTS

## ・2004年度中間決算概要

1．中間決算のポイント	P 1
2．収入保険料の状況	P 2
3．支払保険金の状況	P 4
4．異常危険準備金の状況	P 5
5．事業費の状況	P 6
6．資産運用の状況	P 7
7．資本の状況	P 8
<参考> フォートレスリー航空再保険の状況	P 9
8．あいおい生命 上半期業績のポイント	P 10

## ・2004年度通期業績予想

1．業績予想のポイント	P 11
-------------	------

## ・下期重点取組

1．成長性の確保	P 12
2．生産性・効率性の向上	P 17
3．グループ収益の拡大	P 18

資料編（別冊）

2004年度中間決算諸データ

# . 2004年度中間決算概要

# 2004年度中間決算概要

## 1. 中間決算のポイント

【下段は除く特殊要因】

大口自然災害の影響および「固定資産の減損会計」早期適用による影響を吸収した上で、中間純利益は黒字を確保

除く特殊要因 = 自賠償政府再保険廃止影響とFR影響を除く

(単位: 億円 / %)

	2003年	2004年	増減額	増減率
	9月末	9月末		
正味収入保険料	4,192	4,163	28	0.7
	3,825	3,807	18	0.5
正味支払保険金	2,223	2,304	80	3.6
	2,003	1,976	26	1.3
正味事業費	1,380	1,342	38	2.8
	1,378	1,342	36	2.6
保険引受利益	132	92	225	170.1
資産運用損益	140	192	51	36.6
経常利益	230	72	158	68.7
特別損益	16	0	15	-
特別利益	7	94	87	-
特別損失	23	95	71	298.2
中間純利益	90	51	39	43.4
正味損害率	57.5	59.6	2.1 P	
	57.3	56.6	0.7 P	正味損害率は 損害調査費込み
正味事業費率	32.9	32.2	0.7 P	
	36.0	35.3	0.7 P	
コンバインドレシオ	90.4	91.9	1.5 P	
	93.3	91.8	1.5 P	

# 2004年度中間決算概要

## 2. 収入保険料の状況(1) 種目別収入保険料

### 種目別正味収入保険料

【除く特殊要因】

(単位：億円 / %)

種目	2003年9月末		2004年度9月末		
	金額	増減率	金額	増減額	増減率
火災	394	0.8	417	23	6.0
海上	25	0.8	25	0	2.8
傷害	249	5.3	252	2	1.1
自動車	2,387	2.6	2,314	72	3.0
自賠責	440	4.0	444	4	1.0
その他	328	7.5	351	23	7.0
合計	3,825	2.1	3,807	18	0.5

火災	長期火災 出再保険料の減少	+ 9 億円 + 17 億円
傷害	第三分野 積立傷害	+ 9 億円 5 億円
自動車	単価ダウン影響 海外受再保険料の減少	5.8 億円 2.4 億円
その他	賠償責任	+ 1.6 億円

(営業成績ベース)

# 2004年度中間決算概要

## 2. 収入保険料の状況(2) 営業成績保険料

### 種目別営業成績

(単位：億円 / %)

種目	2003年9月末		2004年9月末		
	金額	増減率	金額	増減額	増減率
火災	422	4.2	436	14	3.5
海上	43	0.8	44	1	0.2
傷害	207	1.5	223	16	5.4
自動車	2,379	1.9	2,333	46	1.9
自賠責	702	1.4	706	4	0.6
その他	353	5.0	369	16	4.3
合計	4,108	0.8	4,112	4	0.0

### チャンネル別営業成績

(単位：億円 / %)

チャンネル	2003年9月末		2004年9月末		
	金額	増減率	金額	増減額	増減率
プロ	1,473	2.1	1,451	21	1.4
モーター	816	0.6	822	7	0.8
トヨタグループ	842	5.5	867	25	2.9
トヨタG販売店	740	3.9	746	6	0.8
うちトヨタG企業	101	17.8	121	20	19.9
その他ディーラー	150	11.2	137	12	8.2
企業	426	0.7	426	0	0.1
金融	148	7.0	149	1	0.5
うち銀行窓販	24	34.8	21	3	11.7
その他	255	8.9	260	5	1.8
合計	4,108	0.8	4,112	4	0.0

国内営業成績ベースでは、実績を確保  
種目別では、自動車を除く全種目で増収  
自動車は台数が増加に転じるも、単価  
ダウンの影響大

トヨタグループ、モーターは堅調に増収  
プロは減収幅が縮小

## 3. 支払保険金の状況

### 正味支払保険金・損害率推移

【除く特殊要因】

(単位：億円 / %)

	2003年9月末		2004年9月末		
	支払保険金	損害率	支払保険金	損害率	増減
火災	168	44.7	168	42.4	2.3P
海上	21	90.1	12	50.9	39.2P
傷害	85	39.2	80	35.5	3.7P
自動車	1,255	57.2	1,262	59.2	2.0P
自賠責	251	65.8	236	61.8	4.0P
その他	220	73.0	215	65.3	7.7P
合計	2,003	57.3	1,976	56.6	0.7P

総合損害率は、海外受再保険契約の縮小等の効果により、0.7ポイント改善

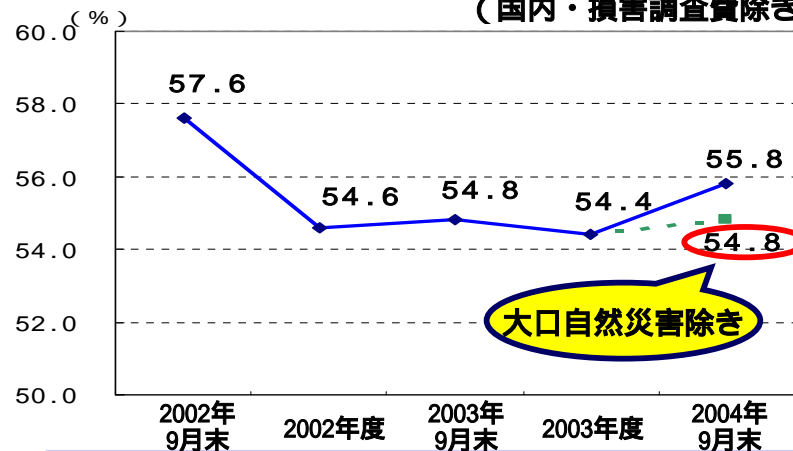
### 自然災害の状況

(単位：億円)

	2004年9月末	
	元受	正味
発生保険金	307	211
支払保険金	65	63
支払備金	241	147

### 自動車E / I 損害率

(国内・損害調査費除き)



大口自然災害の影響等により+1.4ポイント悪化したものの、自然災害除きでは+0.4ポイント上昇に留まり、引続き安定的に推移

## 4. 異常危険準備金の状況

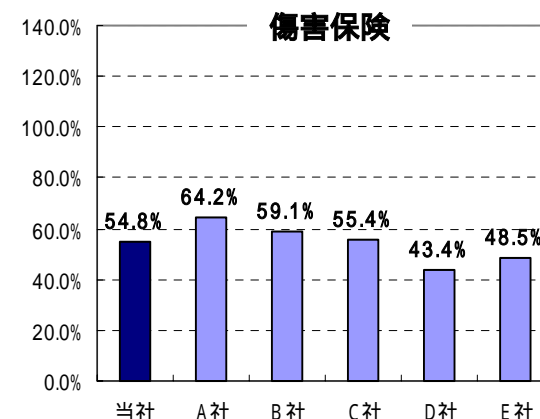
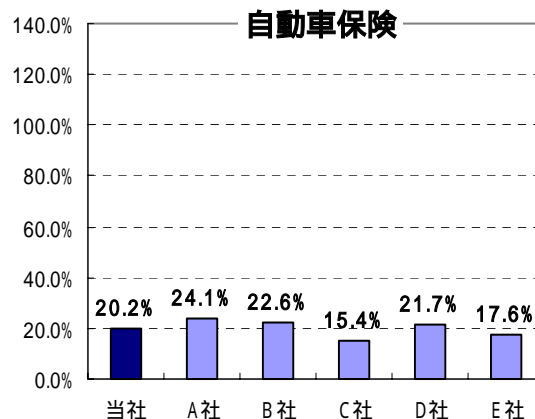
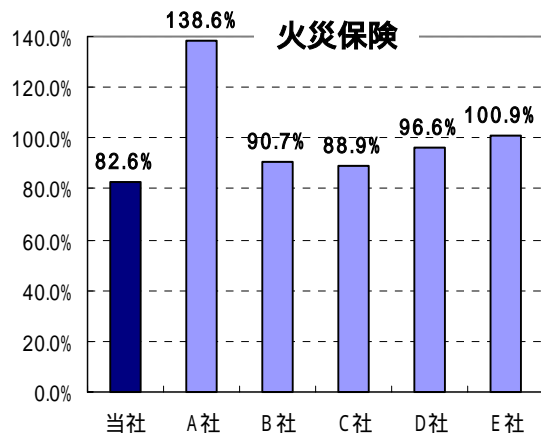
### 種目別の積立状況

(単位：億円 / %)

	2004年3月末		2004年9月末		
	金額	積立率	金額	積立率	増減率
火災	655	79.7	678	82.6	2.9P
海上	33	64.2	34	66.5	2.3P
傷害	269	54.9	277	54.8	0.1P
自動車	842	17.9	933	20.2	2.3P
その他	140	19.2	154	21.0	1.8P

傷害を除く全種目で積立率は上昇  
火災保険の繰入率 5.8%へ変更  
(前年度に3.8%から引き上げ)

### 種目別積立率の他社比較 (2004年9月末)



収入保険料ウェイトの大きい火災・自動車・傷害の積立率は、種目毎では遜色ない水準  
全種目合計で積立率が低く見えるのは、自動車保険のウェイトが高いことが主因



## 5. 事業費の状況

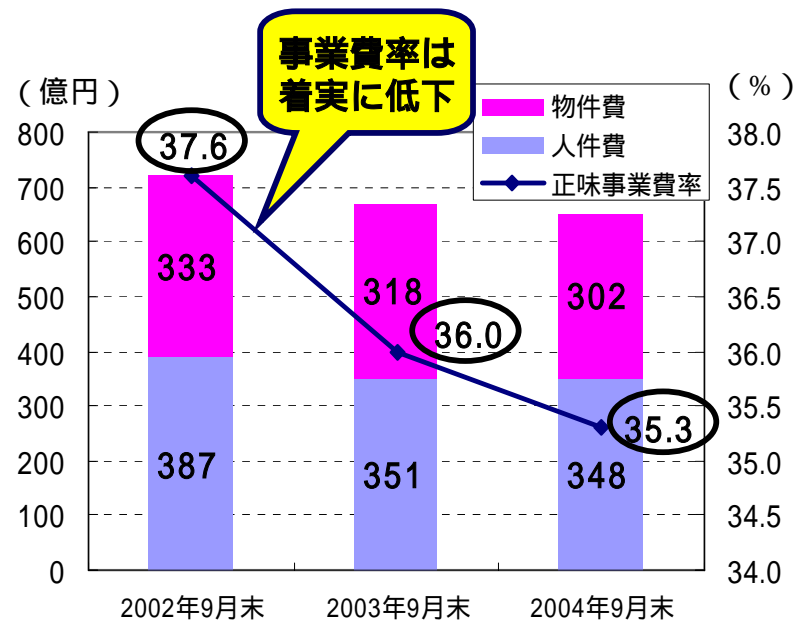
### 事業費圧縮状況

【除く特殊要因】

(単位：億円 / %)

	2003年	2004年		
	9月末	9月末	増減額	増減率
人件費	351	348	2	0.8
物件費	318	302	15	4.9
保険引受に係る営業費 及び一般管理費	669	651	18	2.8
諸手数料及び集金費	709	691	17	2.5
正味事業費	1,378	1,342	36	2.6
正味事業費率	36.0%	35.3%	0.7P	

物件費には、拠出金・負担金、税金を含む



正味事業費は、継続的な効率化努力により前年対比で36億円削減

正味事業費率も、保険料減収影響を吸収して前年対比で着実に低下

## 6. 資産運用の状況

### 資産運用損益

(単位：億円)

	2003年 9月末	2004年 9月末	増減額
<b>資産運用損益</b>	140	192	51
利息及び配当金収入	191	215	24
有価証券売却益	35	99	64
有価証券評価損( )	11	13	2
その他運用損益	31	5	37
積立保険料等運用益振替	106	103	2

資産運用損益は、前年対比で  
51億円増加  
低金利が継続する中で、利配収入  
が24億円増加  
政策株式売却等により、有価証券  
売却益が64億円増加

### 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用

<資産グループ毎の減損損失>

(単位：億円)

	土地	建物
賃貸用資産	47	32
遊休資産等	2	1
合計	50	34

資産の健全性確保の観点から今期  
より早期適用  
減損損失額84億円を特別損失に  
計上

## 7. 資本の状況

### ソルベンシー・マージン比率の状況

(単位：億円)

	2003年 9月末	2003年度	2004年 9月末	増減額
	総資産	25,699	25,978	25,644
自己資本	3,754	4,468	4,141	326
異常危険準備金	1,980	1,942	2,076	134
ソルベンシー・マージン比率	798.8%	910.1%	892.3%	17.8P

ソルベンシー・マージン比率は、株式含み益が減少したものの、17.8ポイントの低下に留まり十分な水準を確保

### 有価証券含み損益の状況

(単位：億円)

	2003年 9月末	2003年度	2004年 9月末	増減額
	公社債	24	36	22
株式	1,397	2,238	1,723	515
外国証券	163	149	74	75
その他	1	57	13	43
合計	1,260	2,183	1,685	498

政策株式含み益減少

### 政策保有株式の圧縮状況（簿価ベース）

(単位：億円)

	2003年 9月末	2003年度	2004年 9月末
圧縮額	295	968	37
保有残高	4,353	3,689	3,652

400億円の売却目標達成に向け、下期政策株式の売却を促進

圧縮額及び保有残高は、減損処理後残高

## <参考> フォートレス・リー航空再保険の状況

### 支払保険金の状況

(単位：億円)

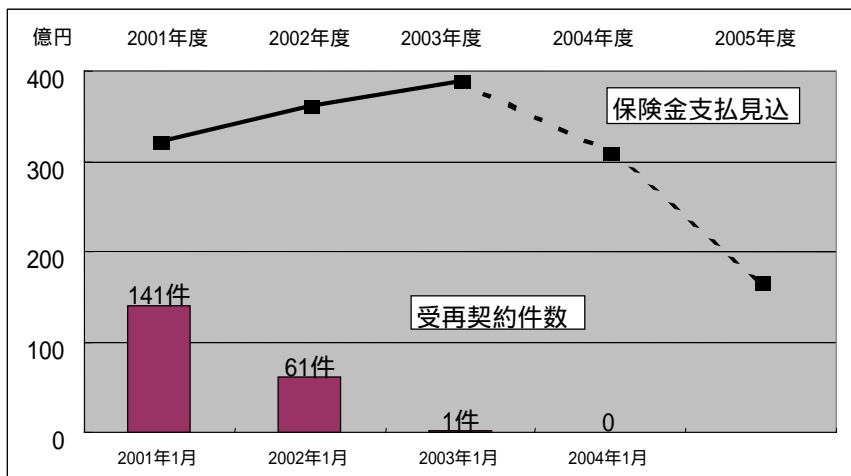
	2001年度	2002年度	2003年度	2004年 9月末
支払保険金	322	362	389	161
支払備金残高	1,167	884	616	529

国際会計事務所による支払見込額の  
精査を定期的を実施

保険金支払は順調に進捗

フォートレス・リー社及び同社役員  
等との間で和解契約を締結

和解金 85 億円を特別利益へ計上



## 8. あいおい生命 上半期業績のポイント

(単位: 億円 / %)

	2003年 9月末	2004年 9月末	増減	
			増減額	増減率
<b>新規契約高</b>	4,020	5,153	1,132	28.2
個人・個人年金	3,670	4,481	810	22.1
団体・団体年金	349	671	321	92.0
<b>保有契約高</b>	39,454	44,937	5,483	13.9
個人・個人年金	32,019	36,172	4,152	13.0
団体・団体年金	7,434	8,765	1,330	17.9

(単位: 百万円 / %)

保険料等収入	29,628	29,740	111	0.4
資産運用収益	1,617	1,892	274	17.0
保険金等支払金	9,148	9,961	813	8.9
資産運用費用	1	73	71	-

<b>総資産</b>	180,412	210,846	30,433	16.9
------------	---------	---------	--------	------

ソルベンシー・マージン比率	1,951.9	1,891.7	60.2P
---------------	---------	---------	-------

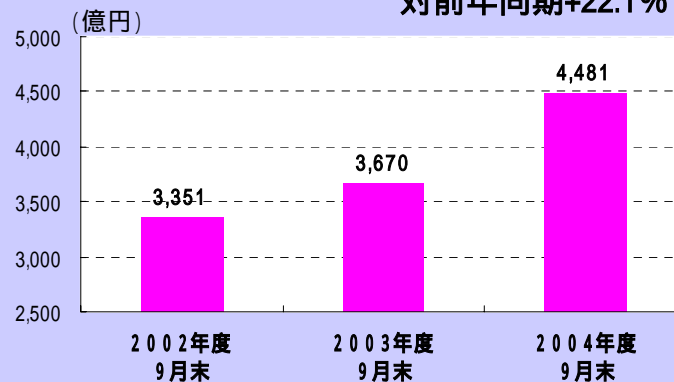
**標準責任準備金達成に向けて9.5億円の積増しを実施**

積増しをしなかった場合、実質の中間純利益9.55億円

### 契約高は順調に拡大

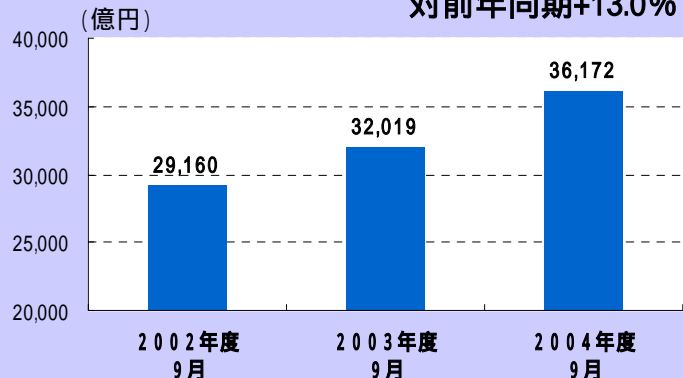
#### 個人新規契約高

対前年同期+22.1%



#### 個人保有契約高

対前年同期+13.0%



# . 2004年度通期業績予想

# 2004年度通期業績予想

## 1. 業績予想のポイント

【下段は除く特殊要因】

大口自然災害の影響を、異常危険準備金の取崩により吸収し、当期利益は170億円を確保

(単位：億円 / %)

	2003年度	2004年度 見通し	増減	
			増減額	増減率
正味収入保険料	8,365	8,280	85	1.0
	7,582	7,583	0	0.0
正味支払保険金	4,714	5,019	304	6.4
	4,173	4,321	147	3.5
正味事業費	2,798	2,749	49	1.8
	2,795	2,748	47	1.7
保険引受利益	130	15	115	88.5
資産運用損益	415	320	95	23.0
経常利益	453	270	183	40.4
当期利益	273	170	103	37.8
正味損害率	60.8	65.0	4.2P	正味損害率は 損害調査費込み
	59.9	61.8	1.9P	
正味事業費率	33.5	33.2	0.3P	
	36.9	36.2	0.7P	
コンバインドレシオ	94.3	98.2	3.9P	
	96.8	98.1	1.3P	


• 下期重点取組



## 1. 成長性の確保 (1) 商品戦略

### 自動車保険戦略

自動車保険の一步先へ。



「切替促進」と「新規顧客拡大」により  
自動車保険の増収を実現

**業界初**

補償内容の更なる拡充  
—事故のスピード解決—

対歩行者等事故傷害補償保険特約(2004年10月)  
＜被害者の過失分をお支払＝交通弱者の救済＞

**新投入**

多様な特約をニーズ毎に  
パッケージ化  
代理店の販売拡大を支援

新定型プラン「トップランイージー」を投入(2004年10月)  
＜特約パッケージ、契約手続きの簡素化、キャッシュレス＞

補償内容の更なる拡充による新規顧客の拡大

既存顧客に対するトップラン切替と特約付帯による単価アップの徹底

# 下期重点取組

## 1. 成長性の確保 (1) 商品戦略

### 人保険戦略

健康総合保険「健康倶楽部」を中心とした人保険拡販

人保険スペシャリスト  
による指導・支援

QLIC社員の投入

人保険販売チャネルの拡大

プロ

企業・金融

ディーラー

モーター

	2004年9月末	
	増収額	増率
人 保 険	11億円	5.4%
第三分野	8億円	21.8%

### プラットフォーム戦略

『プラットフォーム商品』の徹底推進による複合販売強化

新発売

運送業マーケット

運送業総合保険  
(2004年12月)

運送業界に対応した最高水準の補償内容  
「安全」「環境」に配慮した各種割引制度  
を導入

個人マーケット

家庭総合保険

中小企業マーケット

事業者総合保険

建設業マーケット

建設業総合保険

	2004年9月末	
	増収額	増率
家 庭 総 合	4億円	8.6%
事 業 者 総 合	2億円	54.5%
建 設 業 総 合	4億円	21.1%

# 下期重点取組

## 1. 成長性の確保 (2) チャンネル・マーケット戦略

### トヨタマーケット戦略

更なる増収を目指し取組を強化

	2003年 9月末	2004年 9月末	増率
グループ販売店	740億円	746億円	0.8%
グループ企業	101億円	121億円	19.9%
合計	842億円	867億円	2.9%

### 共同開発商品の販売は順調に拡大

	2003年9月末		2004年9月末		増率
	件数	収保	件数	収保	
コンビにプラン	23千件	24億円	25千件	26億円	6.4%
ながらくプラン	3千件	3億円	10千件	10億円	212.0%

2003年7月から販売開始

### グループ販売店取引の拡大推進

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年 9月末
取引拠点数 拡大	98	80	96	48
販売店新規 乗合数	19	10	8	5
幹事取引 拡大	4	1	2	2

### トヨタとの連携による商品開発

トヨタの先進技術・金融事業と連動した商品開発

テレマティクス・ITS対応自動車保険 「PAYD」

TS CUBIC CARD会員向け生命保険 「ずっとラック」 **新発売**

### 販売店の保険収益拡大支援

トヨタ販売チャンネル再編に対応する積極的な提案

保険業務改善活動の加速

ディーラー特級制度及びフォローアッププログラムの活用

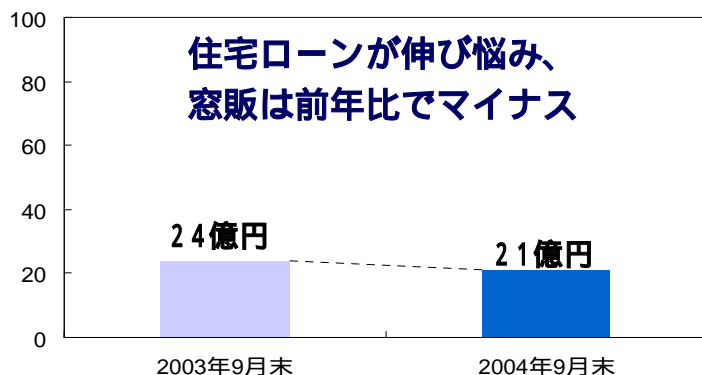
### グループ企業との取引拡大

管財・団体マーケットにおける確実なシェアアップ  
トヨタホーム顧客への住宅ローン長期火災保険拡販

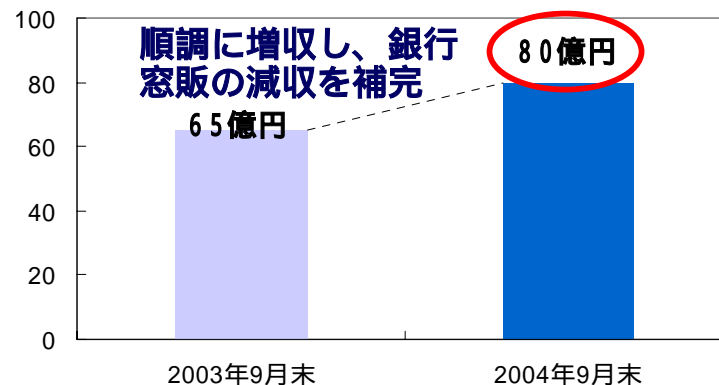
## 1. 成長性の確保 (2) チャンネル・マーケット戦略

### 住宅ローン火災マーケット戦略

#### 「銀行窓販チャンネル」



#### 「住宅産業チャンネル」



住宅ローン火災の取扱いが、銀行から、より早い段階で顧客と接する住宅産業にシフトする傾向  
当社シェアの高い住宅産業チャンネルと地域金融機関の提携を進めることで、増収を確保

当社独自戦略による地域金融機関開拓  
住宅産業チャンネルとの連携  
地域金融機関から評価の高い  
「中小企業小口ローン信用保険」を提供  
生保「無選択年金」「ガン診断給付金  
特約付団体信用生命保険」を推進

地域情報  
ネットワーク

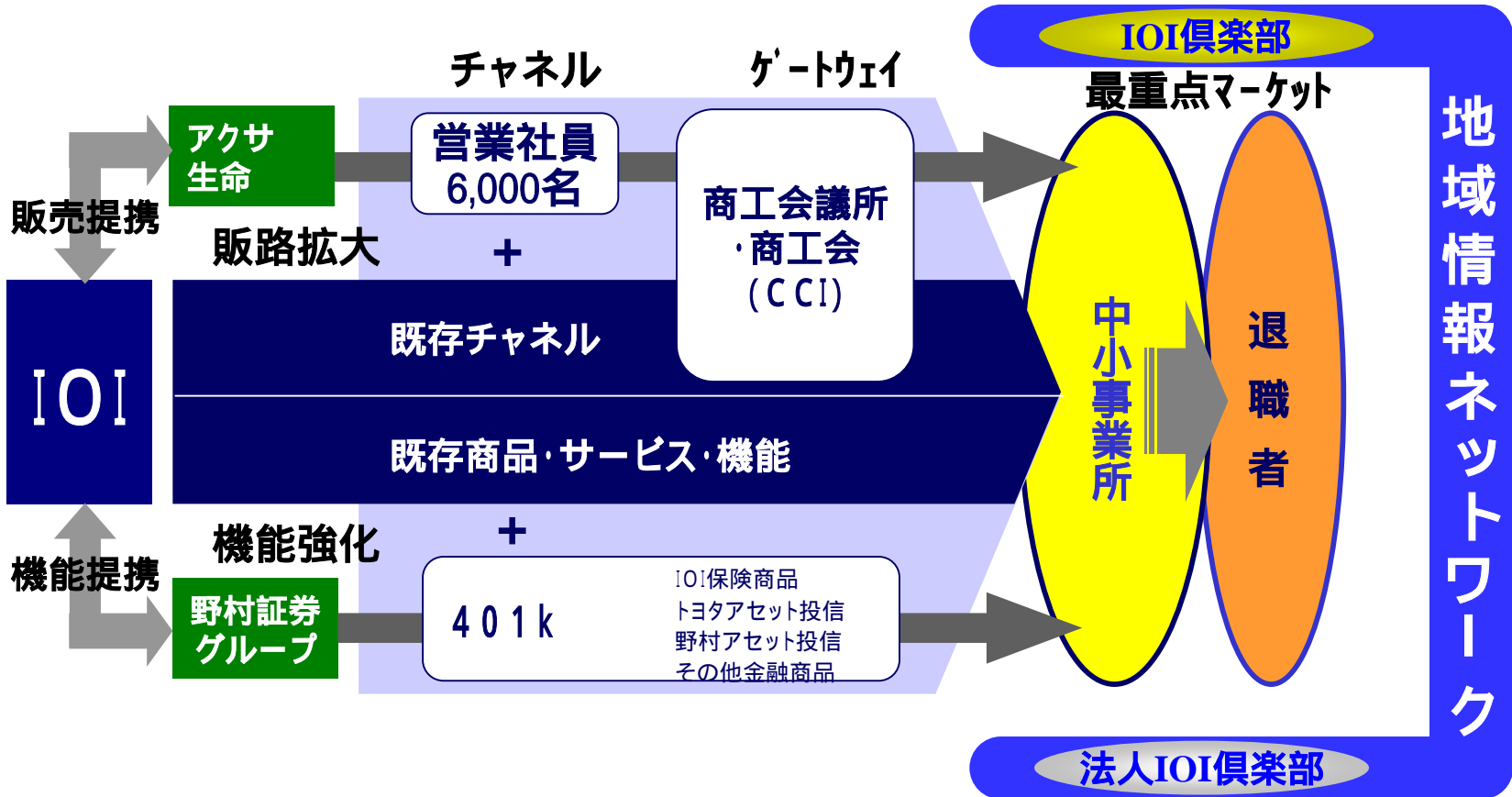
地域金融機関との連携  
「住宅産業向けセミナー」等を地域  
金融機関と共同開催し、住宅産業を  
開拓

# 下期重点取組

## 1. 成長性の確保 (2) チャンネル・マーケット戦略

### 中小事業所マーケット戦略

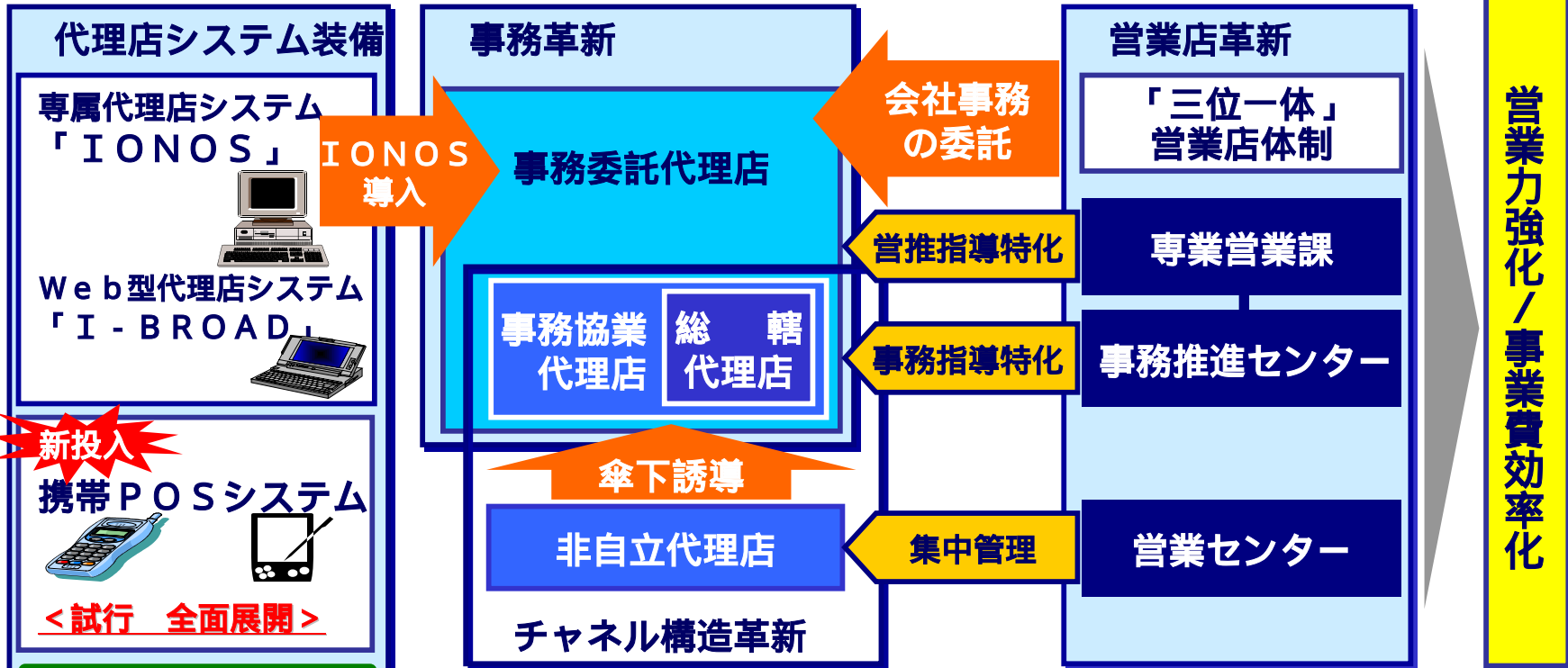
提携を活用した販路拡大・機能強化と地域情報ネットワークによる  
中小事業所・退職者マーケットの開拓



# 下期重点取組

## 2. 生産性・効率性の向上

### 営業構造革新による抜本的な生産性・効率性の向上



	2004年9月末	2004年度目標
事務委託店	1,495	2,000
事務協業店	103	250
総轄代理店	9	50

	2004年10月	2004年度目標
專業営業課	5	11
事務推進センター	6	14
営業センター/チーム	66	78

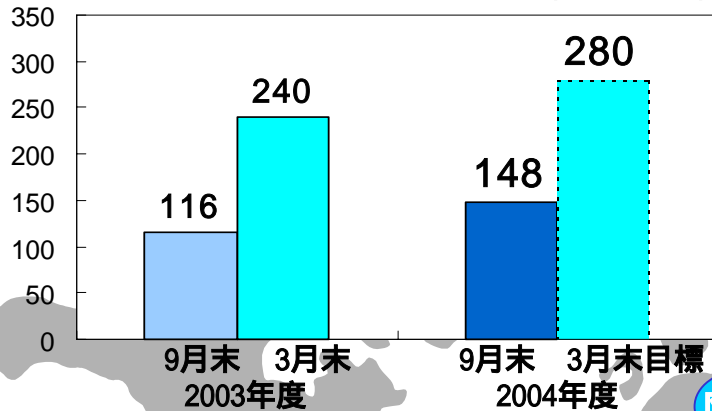
# 下期重点取組

## 3. グループ収益の拡大 (1) 海外事業の積極的展開

トヨタグローバル戦略と連動したF & I事業は順調に進展  
 アジアマーケットでのF & I事業の強化及び中国への先行投資

現地元受収保状況

(単位:億円)



欧州

2005年1月より欧州あいおいモーター  
 & ジェネラル保険営業開始  
 F & I・日系企業向け損保事業を推進

2004年度 5事務所体制 (2事務所開設)  
 2005年度 支店開設による元受体制の構築

中国

タイ

豪州

現地損保会社に出資  
 2005年1月バンコクあいおい損保  
 に組織変更しF & I事業を推進

IAG社との提携によるF & I事業の推進  
 IAG社: 豪州最大手の損害保険会社

## 3. グループ収益の拡大(2) 生保事業

標準責任準備金の積増しを加速  
エンベディッド・バリューの拡大

(単位: 億円)

	2004年9月	2004年度
<b>新規契約高</b> (個人・個人年金)	4,481	9,700
<b>保有契約高</b>	44,936	47,800
個人・個人年金	36,172	39,200
団体・団体年金	8,764	8,500

### お客様・チャネルニーズに対応する独自商品の拡充

- 2004年2月 金融機関向け「ガン診断給付金特約付団体信用生命保険」の発売
- 2004年6月 収入保障と医療保障のセット商品「新収入保障保険ジャストワン」の発売
- 2004年11月 「TS CUBIC CARD」会員向けクレジットカード払専用商品「ずっとラック」の発売

**新発売**

### お客様サービスの向上と解約・失効防止対策の強化

- お客様サービスセンターの設置(2004年4月)による保全体制の一層強化
- 「変更手続ダイレクトサービス」の本格展開



## あいおい損害保険株式会社

### 経営企画部 I R グループ

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1 - 28 - 1

T E L : ( 0 3 ) 5 7 8 9 - 7 1 3 5

F A X : ( 0 3 ) 5 4 8 9 - 6 4 6 5

E-mail : kazuhiro-narita@ioi-sonpo.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、こうした記述は、一定のリスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績、経営方針・戦略等は、環境の変化に伴い、変化・変動があり得ることにご留意ください。

## 2004年度中間決算諸データ

1 . 2004年度中間決算概要	..... P 1
2 . 種目別保険料・保険金	..... P 2
3 . 種目別保険料・保険金(除く特殊要因)	..... P 3
4 . 種目別受再保険料・保険金	..... P 4
5 . 正味事業費内訳	..... P 5
6 . 異常危険準備金	..... P 5
7 . 資産査定(貸付金)	..... P 6
8 . リスク管理債権	..... P 6
9 . 長期性資産	..... P 6
10 . 有価証券関係	..... P 7
11 . その他	..... P 7

2004年12月6日

あいおい損害保険株式会社

# 1. 2004年度 中間決算概要

(単位:億円、%)

	2003年度中間	2004年度中間	比較増減	増減率
1. 正味収入保険料	4,192	4,163	28	0.7
2. 正味支払保険金	2,223	2,304	80	3.6
3. 損害調査費	187	178	9	5.0
4. 正味事業費	1,380	1,342	38	2.8
営業収支残	401	338	62	15.5
5. 支払備金積増	116	134	250	
6. 為替損益	65	43	108	
7. 自賠償責任準備金積増	273	164	109	
8. 異常危険準備金積増	135	134	1	
<b>保険引受利益</b>	<b>132</b>	<b>92</b>	<b>225</b>	<b>170.1</b>
資産運用損益	140	192	51	
(うち利息及び配当金収入)	( 191 )	( 215 )	( 24 )	( 12.7 )
(うち有価証券売却損益)	( 35 )	( 99 )	( 64 )	
(うち有価証券評価損)	( 11 )	( 13 )	( 2 )	
<b>経常利益</b>	<b>230</b>	<b>72</b>	<b>158</b>	<b>68.7</b>
特別利益	7	94	87	
特別損失	23	95	71	
<b>当期利益</b>	<b>90</b>	<b>51</b>	<b>39</b>	<b>43.4</b>

ポイント
増減のうち 国内元受任意 25億(うち自動車 54億)
増減のうち 自賠償政府再保険廃止影響 +118億、大口自然災害支払 +63億、外国正味 91億(うちFR 10億)
要員・経費・手数料等全般的に削減
当中間期積増額のうち大口自然災害影響 147億
前期末より円安のため為替益発生 支払備金の増加と相殺
火災 中間期末積立額 678億円(積立率 82.6%)
自動車 中間期末積立額 933億円(積立率 20.2%)

うち株式 82億(前中間 17億)
-------------------

当中間	(前中間)
FR関連訴訟の和解金 85億	貸倒引当金戻入 5億
貸倒引当金戻入 6億	減損損失 84億
減損損失 84億	不動産評価損 13億
価変準備金繰入 5億	価変準備金繰入 6億

(諸比率)

正味保険料増収率	0.6%	0.7%	1.3%
正味損害率	57.5%	59.6%	2.1%
正味事業費率	32.9%	32.2%	0.7%
コンバインドレシオ	90.4%	91.9%	1.5%
収支残率	9.6%	8.1%	1.5%

財務状況

	2003年度中間	2004年度中間	2003年度
総資産	25,699	25,644	25,978
自己資本	3,754	4,141	4,468
異常危険準備金	1,980	2,076	1,942
ソルベンシー・マージン比率	798.8%	892.3%	910.1%

(諸比率【除く特殊要因】)

正味保険料増収率	2.1%	0.5%	1.6%
正味損害率	57.3%	56.6%	0.7%
正味事業費率	36.0%	35.3%	0.7%
コンバインドレシオ	93.3%	91.8%	1.5%
収支残率	6.7%	8.2%	1.5%

大口自然災害状況(9月末)

	元受	正味	支払備金	
			支払保険金	支払備金
火災新種	263	169	38	131
自動車	44	41	25	16
計	307	211	63	147

## 2. 種目別保険料・保険金

### ・種目別元受正味保険料

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期		2004年9月中間期	
		増減率		増減率
火災	45,523	1.7	46,642	2.5
海上	2,615	4.7	2,556	2.2
傷害	25,518	2.7	26,276	3.0
自動車	235,220	1.8	230,074	2.2
自動車損害賠償責任	86,873	7.2	87,516	0.7
その他	36,213	6.4	37,712	4.1
合計	431,964	3.0	430,777	0.3

	2003年度		2004年度見込	
		増減率		増減率
	96,824	4.3	100,400	3.7
	5,039	1.0	5,100	1.2
	49,619	0.9	50,800	2.4
	464,177	2.7	458,500	1.2
	174,213	2.1	174,700	0.3
	67,292	2.7	69,000	2.5
	857,167	0.9	858,500	0.2

### ・種目別正味収入保険料

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期		2004年9月中間期	
		増減率		増減率
火災	39,440	0.8	41,788	6.0
海上	2,500	0.8	2,571	2.8
傷害	24,991	5.3	25,270	1.1
自動車	238,718	2.6	231,437	3.0
自動車損害賠償責任	77,926	35.8	78,574	0.8
その他	35,660	22.9	36,708	2.9
合計	419,238	0.6	416,351	0.7

	2003年度		2004年度見込	
		増減率		増減率
	83,737	3.3	89,300	6.6
	5,251	0.5	5,400	2.8
	49,090	1.6	49,300	0.4
	471,792	3.7	462,500	2.0
	153,634	16.8	154,900	0.8
	73,089	7.6	66,600	8.9
	836,596	0.0	828,000	1.0

### ・種目別正味支払保険金

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期			2004年9月中間期		
		損害率	増減		損害率	増減
火災	16,808	44.7	1.7	16,886	42.4	2.3
海上	2,159	90.1	37.9	1,258	50.9	39.2
傷害	8,546	39.2	1.2	8,044	35.5	3.7
自動車	125,566	57.2	0.3	126,272	59.2	2.0
自動車損害賠償責任	29,926	43.3	8.3	40,240	56.1	12.8
その他	39,298	115.5	42.3	37,702	106.6	8.9
合計	222,305	57.5	1.2	230,404	59.6	2.1

	2003年度			2004年度見込		
		損害率	増減		損害率	増減
	34,182	42.4	5.8	50,600	58.1	15.7
	3,896	76.5	21.5	3,000	57.8	18.7
	17,790	40.4	2.4	17,700	40.0	0.4
	266,689	61.3	0.9	265,700	62.3	1.0
	64,304	47.1	2.1	88,500	62.3	15.2
	84,622	119.9	13.8	76,400	119.2	0.7
	471,486	60.8	0.7	501,900	65.0	4.2

\* 正味損害率 (%) = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

### 3. 種目別保険料・保険金(除く特殊要因)

\*本資料は特殊要因として自賠責政府再保険廃止及びF R関連の影響を除いたものです。

#### ・種目別正味収入保険料(除く特殊要因)

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期		2004年9月中間期		2003年度		2004年度見込	
		増減率		増減率		増減率		増減率
火災	39,440	0.8	41,788	6.0	83,737	3.3	89,300	6.6
海上	2,500	0.8	2,571	2.8	5,251	0.5	5,400	2.8
傷害	24,991	5.3	25,270	1.1	49,090	1.6	49,300	0.4
自動車	238,718	2.6	231,437	3.0	471,792	3.7	462,500	2.0
自動車損害賠償責任	44,019	4.0	44,480	1.0	86,942	4.5	87,700	0.9
その他	32,866	7.5	35,179	7.0	61,389	3.9	64,100	4.4
合計	382,537	2.1	380,728	0.5	758,204	1.9	758,300	0.0

#### ・種目別正味支払保険金(除く特殊要因)

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期			2004年9月中間期			2003年度			2004年度見込		
		損害率	増減		損害率	増減		損害率	増減		損害率	増減
火災	16,808	44.7	1.7	16,886	42.4	2.3	34,182	42.4	5.8	50,600	58.1	15.7
海上	2,159	90.1	37.9	1,258	50.9	39.2	3,896	76.5	21.5	3,000	57.8	18.7
傷害	8,546	39.2	1.2	8,044	35.5	3.7	17,790	40.4	2.4	17,700	40.0	0.4
自動車	125,566	57.2	0.3	126,272	59.2	2.0	266,689	61.3	0.9	265,700	62.3	1.0
自動車損害賠償責任	25,162	65.8	4.1	23,664	61.8	4.0	49,077	65.7	4.8	48,700	64.6	1.1
その他	22,079	73.0	9.6	21,516	65.3	7.7	45,712	79.4	4.7	46,400	77.1	2.3
合計	200,323	57.3	0.2	197,643	56.6	0.7	417,350	59.9	0.3	432,100	61.8	1.9

\* 正味損害率(%) = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

#### 4. 種目別受再保険料・保険金

##### ・種目別受再正味保険料

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期		2004年9月中間期	
		増減率		増減率
火災	7,076	0.9	6,578	7.0
海上	640	2.1	728	13.6
傷害	33	86.6	52	55.9
自動車	6,716	19.5	4,334	35.5
自動車損害賠償責任	57,880	60.4	58,340	0.8
その他	8,207	58.6	4,010	51.1
合計	80,556	11.4	74,045	8.1

	2003年度		2004年度見込	
		増減率		増減率
	14,533	1.2	14,300	1.6
	1,551	4.0	1,500	3.3
	907	213.7	900	0.9
	13,460	30.0	9,300	30.9
	113,937	22.7	115,100	1.0
	14,418	54.9	7,300	49.4
	158,808	1.1	148,400	6.6

##### ・種目別受再正味保険金

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期			2004年9月中間期		
		損害率	増減		損害率	増減
火災	6,947	98.2	0.2	2,503	38.1	60.1
海上	1,725	269.2	207.2	630	86.6	182.6
傷害	33	99.9	31.9	41	-	-
自動車	6,334	94.3	28.2	3,668	84.6	9.7
自動車損害賠償責任	29,926	51.7	19.2	40,240	69.0	17.3
その他	18,962	231.0	164.1	17,296	431.3	200.3
合計	63,930	79.4	7.6	64,298	86.8	7.4

	2003年度			2004年度見込		
		損害率	増減		損害率	増減
	13,652	93.9	19.6	10,600	74.1	19.8
	2,673	172.4	72.9	1,000	66.7	105.7
	181	20.0	81.9	300	33.3	13.3
	12,407	92.2	24.8	7,700	82.8	9.4
	64,304	56.4	1.2	88,500	76.9	20.5
	42,937	297.8	171.0	36,500	500.0	202.2
	136,156	85.7	8.9	144,600	97.4	11.7

## 5. 正味事業費内訳

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期			2004年9月中間期			2003年度			2004年度見込			
		増減率	保険料比		増減率	保険料比		増減率	保険料比		増減率	保険料比	
損害調査費	人件費	47,687	7.7	11.4	46,778	1.9	11.2	96,036	6.3	11.5	94,600	1.5	11.4
+	物件費	36,096	4.6	8.6	34,196	5.3	8.2	77,197	4.3	9.2	76,400	1.0	9.2
営業費及び	税金等	6,340	3.4	1.5	6,069	4.3	1.5	10,477	3.1	1.3	10,100	3.6	1.2
一般管理費	計	90,124	6.2	21.5	87,044	3.4	20.9	183,711	5.3	22.0	181,100	1.4	21.9
保険引受に係る 営業費及び一般管理費		66,961	7.2	16.0	65,106	2.8	15.6	138,602	5.4	16.6	136,700	1.4	16.5
諸手数料及び集金費		71,100	6.9	17.0	69,152	2.7	16.6	141,255	5.0	16.9	138,200	2.2	16.7
事業費		138,062 (137,870)	7.0 ( 6.3)	32.9 (36.0)	134,258 (134,235)	2.8 ( 2.6)	32.2 (35.3)	279,858 (279,516)	5.2 ( 4.7)	33.5 (36.9)	274,900 (274,800)	1.8 ( 1.7)	33.2 (36.2)

\* ( ) 内は特殊要因（自賠償政府再保険廃止及びFR関連の影響）を除いております。

## 6. 異常危険準備金

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期	2003年度	2004年9月中間期		
	(積立率)	(積立率)	(積立率)	対前中間増減	対前期末増減
火災	62,621 ( 80.8)	65,587 ( 79.7)	67,845 ( 82.6)	5,224	2,257
海上	3,443 ( 68.8)	3,370 ( 64.2)	3,418 ( 66.5)	24	47
傷害	25,549 ( 51.1)	26,969 ( 54.9)	27,705 ( 54.8)	2,156	735
自動車	92,456 ( 19.4)	84,240 ( 17.9)	93,305 ( 20.2)	849	9,065
その他	13,963 ( 19.6)	14,056 ( 19.2)	15,409 ( 21.0)	1,445	1,352
合計	198,034 ( 29.1)	194,225 ( 28.5)	207,685 ( 30.8)	9,650	13,459

\* 積立率 = 異常危険準備金の残高 ÷ 正味収入保険料（除く家計地震・自賠償） × 100  
 なお、中間期については、正味収入保険料（除く家計地震・自賠償）を2倍した上で算出しております。

## 7. 資産査定（貸付金）

(単位：百万円、%)

		2003年9月中間期 (W/T)	2004年9月中間期 (W/T)	増 減 (W/T)	2003年度 (W/T)
合計		355,115 ( 100.0)	342,656 ( 100.0)	12,458 ( -)	352,977 ( 100.0)
	非分類資産計	325,883 ( 91.8)	312,722 ( 91.3)	13,160 ( 0.5)	324,433 ( 91.9)
	分類対象資産計	29,232 ( 8.2)	29,934 ( 8.7)	702 ( 0.5)	28,544 ( 8.1)
	分類	17,941 ( 5.1)	19,216 ( 5.6)	1,275 ( 0.5)	18,438 ( 5.2)
	分類	9,564 ( 2.7)	9,006 ( 2.6)	558 ( 0.1)	8,641 ( 2.4)
	分類	1,726 ( 0.5)	1,711 ( 0.5)	15 ( -)	1,463 ( 0.4)

## 8. リスク管理債権

(単位：百万円、%)

	2003年9月中間期	2004年9月中間期	増 減	2003年度
破綻先債権	379	227	151	158
延滞債権	20,093	21,693	1,600	18,314
3カ月以上延滞債権	763	723	39	642
貸付条件緩和債権	3,941	4,887	946	5,512
リスク管理債権計	25,177	27,532	2,355	24,627
貸付金	355,115	342,656	12,458	352,977
対貸付金割合	7.1	8.0	0.9	7.0

## 9. 長期性資産

(単位：百万円)

	2003年9月中間期	2004年9月中間期	増 減	2003年度
長期性資産	769,598	707,179	62,418	732,168



## 10. 有価証券関係

### (1) 有価証券の含み損益

	2003年9月中間期	2004年9月中間期
公 社 債	24	22
株 式	1,397	1,723
外 国 証 券	163	74
そ の 他	1	13
合 計	1,260	1,685

\* 買入金銭債権は「その他」に含めております。

(単位：億円)

2003年度
36
2,238
149
57
2,183

### (2) 減損処理による有価証券の評価損

	2003年9月中間期	2004年9月中間期
公 社 債		
株 式	11	13
外 国 証 券		
そ の 他		
合 計	11	13

(単位：億円)

2003年度
8
0
9

## 11. その他

### (1) 自動車盗難の被害実態

	2003年9月中間期	2004年9月中間期
支 払 件 数	3,675件	3,302件
支 払 保 険 金	34	32
支 払 備 金	13	12

自社幹事契約の自社分(元受ベース)

(単位：億円)

2003年度
7,379件
69
11

### (2) 自然災害の影響

	2003年9月中間期	2004年9月中間期
元 受 保 険 金	14	65
正 味 保 険 金	11	63
未 払 保 険 金	3	147

未払保険金 = 支払備金と回収支払備金のネット

(単位：億円)

2003年度
20
16
0